



試験報告書

新宿産業株式会社 殿
茨城県東茨城郡城里町徳蔵261

試験品内容： [種 別] JIS A 5308:2024 附属書JA「レディミストコンクリート用骨材」
JIS A 5005:2020「コンクリート用碎石及び砕砂」
粗骨材 コンクリート用碎石 2005 A
[大 き さ] 20~5mm
[採 取 日] 2024年10月31日
[産 地] 茨城県東茨城郡城里町徳蔵地内
[採 取 場 所] スtockヤード

試験項目： 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)

受領日(試料持込日)： 2024年 11月 12日

試験日： 2024年 11月 13日 ~ 2024年 11月 15日

試験結果： 次頁以降のとおり

特記事項： —

試験実施場所：一般財団法人日本品質保証機構 関東マテリアルテクノ試験所 試験室(東京都品川区東大井1-8-12)

- (注) 1. 上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対する結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2024年 12月 6日

東京都品川区東大井1-8-12
一般財団法人 日本品質保証機構
関東マテリアルテクノ試験所

所 長 伊 東 誠

技術管理者 小 野 一 隆

この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)

(1)試験方法 JIS A 1145:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」による。

- (2)判定基準
- a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を「無害」と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を「無害でない」と判定する。
 - b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を「無害」と判定する。
 - c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

(3)試験結果

繰り返し	試料量 (g)	反応時間 (hr)	アルカリ濃度減少量 (Rc) (mmol/L)				溶解シリカ量 (Sc) (mmol/L) 「吸光度法」				判定
			V ₁ (mL)	V ₂ (mL)	Rc	平均値	吸光度	A (mg/L)	Sc	平均値	
1	25.00	24.0	20	18.75	55	56	0.251	4.52	32	33	無害
2	25.00	24.0	20	18.70	57		0.254	4.58	33		
3	25.00	24.0	20	18.75	55		0.255	4.60	33		
ブランク V ₃ (mL) = 19.85						希釈倍率 n = 10					

$$Rc = \frac{20 \times 0.05 \times F}{V_1} (V_3 - V_2) \times 1000$$

$$Sc = 20 \times n \times A \times \frac{1}{28.09}$$

Rc: アルカリ濃度減少量

Sc: 溶解シリカ量

F: 0.05mol/L塩酸標準液のファクター = 0.999

n: 希釈倍率

V₁: 希釈試料溶液からの分取量

A: 検量線から求めたけい素量

V₂: 希釈試料溶液の滴定に要した0.05mol/L塩酸標準液量

V₃: 希釈した空試料溶液の滴定に要した0.05mol/L塩酸標準液量

以上

(参考)

